

「大学生を対象とした農業体験と意見交換会」についてのアンケート

農業体験と意見交換会に関することについての感想

- 生きていく上では「食」ということが欠かせない中、農業体験をすることで、食べ物のありがたみや感謝の気持ちなどを改めて感じるとてもいい体験・時間を過ごすことができました。
- 食について指導等をしていく管理栄養士を目指す中、やはり自分で体験することの大切さがよくわかりました。
- 実際に農業体験をさせていただけたり、食育のお話を聞くことができ、とても良い体験ができました。
- 普段できない農業の体験をすることができ、とても良い時間を過ごすことができました。
- 実際に種をまくところから体験が出来てとても良かったです。その後に食べた岡山県産自給率100%の豚汁はとてもおいしく、改めて地元で取れた食材を使って給食を作りたいという気持ちが大きくなりました。
- 農業体験、意見交換会共にとても自分のためになるものばかりでした。ありがとうございました。
- 今日は軽い気持ちで来たけど、終わった今、本当に貴重な体験をさせていただいたこと嬉しく思います。野菜のできることは、当たり前でなく本当に感謝しないといけないと思いました。
- 食について勉強していますが、農業を実際に体験した方が今後子どもたちに伝えていくには、まず自分が体験して知識や知恵を身につけなければ何も教えられないと思いました。
- ホウレン草をする人、稻刈りをする人などグループ分けをして、意見交換会のときに、他のグループの人から話を伺いたい。
- 農業体験では、ホウレン草の種を見たことがなかったので、他の農作物も調べてみたいと考えました。
- 「栄養教育」今日は本当の意味での栄養教育を知ることができたと思います。最近のキーワードである「安全安心」や「地産地消」を実体験で学習することができたと知ることができました。

講演についての感想

- 東先生のお話では、自分が小学生の頃に体験できていれば良かったなと思うことがたくさんありました。
- 先生のお話を聞いて、私も失敗を恐れず、どんなことにもチャレンジしていきたいと思いました。
- 東先生のお話を伺い、子どもたちの頑張りや団結すること等、話の所々で涙が出そうになりました。すばらしい体験と思います。
- 自分もそのような先生になりたいです。卒業後は東京へ行きたいと考えておりましたが、実家へ戻り、農家を手伝いながら家庭科の教員として子どもたちに食べることの大切さを教えたいです。
- 講演会もっともっと聴きたかったです。色々自分の中で考え直すことがありました。
- 種まきも講話も昼食もとても良い勉強になりました。私も児童のときにあのような体験をしていればと思いました。これからは私達が児童・生徒に伝え支援していく番なのだと思いました。
- 東先生のお話から、小学生でも考えれば生きる知恵を得られると感じることができたと知り、そういう子どもの話すことは、今の自分より大人だとさえ思いました。

「食」と「農」を結びつける食育活動を促すためには、どのような取組が効果的だと思いますか。

- 体験し、考えるということ、そして考えたことを活かす場ができる取組みが効果的だと、今回の農業体験、講演を通じて思いました。
- 東先生のように児童に野菜を作るところからさせる体験の場を作ると良いと思った。
- 植物を育てる(土を耕す)ところからの体験が、食へと深く結びついていくのだと強く実感した。
そこで、学生や栄養教諭を対象に種をまくところから収穫までの一連の経験、体験活動をしてはどうかと感じました。
- 農というものは地域に必ずあるものだと考えられます。地域との関わりを大切にしながら、農業の体験を関わることを進めることで、自然と食について興味をつける動機づけが出来るのではないかと思います。
- 実際に田植え、畠仕事をすること、それ専門の方にお話を聞くことが大切だと思います。
また、これからは、学校栄養職員や栄養教諭が力を発揮し、地域、家庭、学校との連携をとることが大切だと感じました。
- ・生産から消費までを通して学習すること
 - ・地域の方々(農業をされている方)の協力
 - ・若い世代に「農業」に興味を持たせること(プロモーション)
 - ➡ 楽しいやかっこいいと思えるような
- 食と農は切り離せないと知りました。
今まででは、農家の人のビデオをとり、児童へ見せることで感謝の心が養われると思っていましたが、何もないところから感動を経験することが、生きる力を育てられると知りました。

その他

- おにぎり、豚汁ともおいしかったです。
- 自分たちで調理できればもっと良かったです。
カマドで炊飯が経験できたら最高です。